

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人かわさき福祉相談センター

②施設・事業所情報

名称：なないろkids武蔵新城	種別：保育所版
代表者氏名：山崎裕太	定員（利用人数）： 16（12）名
所在地：〒211-0044 神奈川県川崎市中原区新城3-10-1	
TEL：044-920-9116	ホームページ： http://www.nanairokids.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社YAMAZAKI	
職員数	常勤職員： 7名 非常勤職員 4名
専門職員	園長 1名 主任 1名
	保育士（資格有） 7名 保育者、保育補助（資格無） 1名
	栄養士 1名
施設・設備 の概要	0歳児保育室 1室 調理室 1室
	1,2歳児保育室 1室 子ども便所 1室
	事務室 1室 職員便所 1室

③理念・基本方針

なないろkidsの保育理念

温かい家庭のような保育環境の中で、一人ひとりの子どもの心と体の発達を大切にしながら、一人ひとりに合わせた環境設定・配慮の中で保育を行い、一人ひとりの主体性を尊重し、一人ひとりの子どもの生きる力の基礎を育てる

保育の基本方針

こどもの心身の発達において大切な時期に、次の3点を保育方針として掲げる

①元気な子ども

戸外で思い切り体を動かし遊び、体を動かす心地よさを味わい、心身の健康の基礎を培う

②思いやりの心、憧れの心を育てる

異年齢保育を通して、年下や年上のお友だちと一緒に過ごす事で思いやり、憧れの気持ちを育む

③感性や表現力の豊かな子ども

身近な自然事象に興味や関心を持ち、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う

④施設・事業所の特徴的な取組

家庭的で温かい保育園を掲げています。

当園は0、1、2歳児のお子様をお預かりする施設であります。

保育園は子どもたちにとって、お父様お母様の下を離れて過ごす一番最初の場所になります。不安な気持ちや寂しい気持ちがある中で、なないろkidsという場所が、毎日を安心して笑顔いっぱい楽しく、自分を十分に発揮出来る場所であるという事を大切に考えております。なないろkidsならではの温かい家庭のような雰囲気の中で、子どもたちがゆっくりと生きる

力の基礎を培っていく。そのために、子どもたち一人ひとりと真摯に向き合い、一人ひとりの個性を伸ばせるように努めて参ります。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 4月 1日（契約日） ～ 2022年10月16日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

<1家庭ずつの受け渡しで丁寧な保護者対応>

毎日の登降園時の受け渡しは、可能な限り担任保育士が1家庭ずつ対応して、丁寧なコミュニケーションを心掛けています。子どもにとって最良の保育を提供するためには保護者支援も不可欠と考えて、子どもと保護者の両方に目配り・気配りを行っています。

<食への関心を深める食育>

専任の栄養士が調理を受け持つため、子どもたち全員の食の好みや食べる量、成長状況を把握しており、子どもたちの五感を刺激する食事を提供して、子どもが食事に興味を持つように工夫しています。離乳食や幼児食への移行については、月齢だけでなく食べる様子や体調・好みなども勘案して提供しています。その日の食材を見せて、実際に手に取らせるなど、子どもたちが食に興味を持ち、食事を楽しいと感じることを心掛けています。

<ワークライフバランスの実現>

園長が積極的に声掛けを行って残業をしないで退勤することを強く奨めており、職員向けアプリを利用して就業状況や有給休暇取得などを管理しています。職員の心身の健康と安全の確保にも努めて、ワークライフバランスに配慮した職場環境作りが行われています。有休取得100パーセントの取得率になっています。

<評価（チェック）と記録の充実>

小規模保育園で職員が少人数のため、研修報告や保護者等の面談・相談の報告などが口頭伝達になっているように見受けられます。指導計画の変更や見直しについても、会議の内容や改定記録が残されていません。実施記録が残されていないため、組織的な評価（チェック）体制の確立が十分とはいえない状況です。実施（D）した内容を評価・確認（C）、記録する仕組み作りが期待されます。

<総合的な人事管理>

職員個々の自己評価制度がなく、キャリアパスの仕組みが明確化されていません。また、非正規社員は研修の機会や職員会議の出席ができず、情報閲覧の制限があります。計画書の作成などは全職員の参画が必要とされ、また、利用者から見ると正規・非正規社員の差はないため、情報共有や研修が適切に行われ、職員一人ひとりの育成に向けた人事考課や目標管理を行い、職員が自らの将来の姿を描くことができるような総合的な人事管理が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、第三者評価を受審し、保護者の皆様や職員からの意見、第三者評価機関からの評価など様々な視点からの意見や評価を頂き、これから取り組むべき課題が明確になりました。

改善すべき点は速やかに対応して、より質の高い保育の提供に向けて、今後の園運営に活かしていきたいと思えます。

保護者の皆様には今回の受審にあたり、アンケート調査にご協力を頂き感謝いたします。有難うございました。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり